

謙虚に貫く「審判道」。 並木先生、武道功労章受章 おめでとうございます！



平成 30年度武道功労章を受章した並木知徳氏(右)。奥様と共に。



全国各地から約 400名がお祝いに駆けつけた。



謝辞を述べる並木氏。



笹川堯会長(中央)をはじめ、全空連役員の先生方と記念写真。



並木氏が所属する全日本空手道連盟剛柔会、一般社団法人東京都空手道連盟の関係者が、お祝い。笑顔あふれる祝賀会に。

400名が祝福。人柄表す温かい雰囲気祝賀会

3月21日(木・祝)、浅草ビューホテル(東京都台東区)において「並木知徳氏 武道功労章受章祝賀会」が開催された。

並木氏は、1986年から国際審判員として活躍。アジア空手連盟審判委員長、全空連審判委員会審判委員長などを歴任するなど、30年以上の長年にわたり、日本空手界における審判員の育成、審判技術の向上に貢献した。その功績が称えられ、今年1月、日本武道協議会の平成30年度武道功労章を受章した。

この日の祝賀会には、関係者約400名がお祝いに駆けつけた。並木氏が会場に入った時には、多くの方々から自然発生的に拍手が起こり、すぐに会場全体が大きな拍手の音に包まれた。並木氏の優しい人柄が見える、温かい雰囲気の祝賀会であった。

謝辞にて並木氏は、「本日お越しいただいた皆様のお顔を拝見すると、皆様と過ごした一つ一つの経験が、私の空手道・審判道の力となり、おかげさまで持ったこのような大変な章をいただけたのだと感じております」と振り返った。